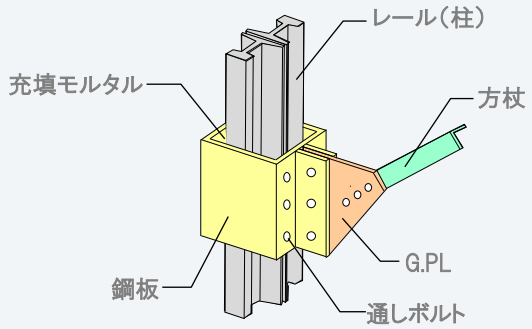
レールピタット

レール構造物を無溶接・乾式で補強

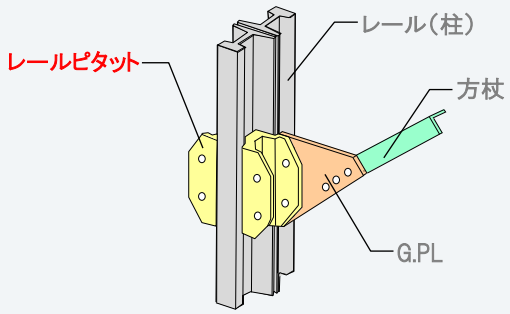
開発経緯

古レールを用いた旅客上家の耐震補強工事において方杖を設置する際、従来の工法では、鋼板巻き・モルタル充填・通しボルト等が必要であり、コスト増・長工期化の要因となっている。
そこで、無溶接・乾式で施工可能な方杖取付金物『レールピタット』を開発した。

開発前



開発後

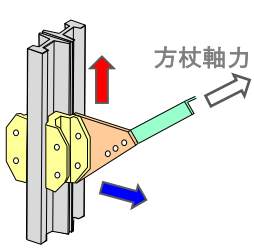


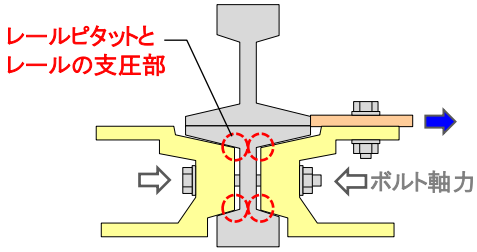
特長

（1）鋳鉄製によりレール形状にフィット
（2）高力ボルトによる乾式の支圧接合
（3）柱と梁の両方に使用可能
（4）30kg※と37kgレールに対応
※一部適用外あり
➡工期短縮、コストダウンの実現

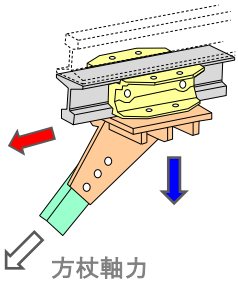


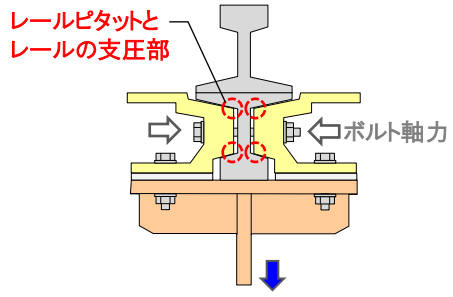
レールピタット





柱（弱軸）の使用例





梁（強軸）の使用例

採用実績

●JR東日本：土浦駅、水戸駅

知的財産権

●特許第7454466号

お問い合わせ

お問い合わせ	JR東日本 T&I推進本部 構造技術センター 03-6878-0017（代表）
製造・販売	日之出水道機器 建築・土木マーケティンググループ 03-3182-2193

資料提供：東日本旅客鉄道株式会社